

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	衛生センター
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-821-0428
	基本事業	し尿の適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	災害時し尿処理事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害発生時に、避難所トイレが復旧するまで、緊急に使用する簡易トイレ及びし尿凝固剤の備蓄並びに、浸水被災世帯の緊急し尿収集に対し、補助金の交付を行う。				
3年度概要	保存年限を過ぎた、し尿凝固剤の更新を行う。 浸水被災世帯への緊急し尿収集事業補助を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	簡易トイレ及びし尿凝固剤の備蓄数（避難所・避難者用）
意図（どのような状態にしたいか）	災害発生時に、避難所トイレが復旧するまで、緊急に使用する簡易トイレ及びし尿凝固剤を備蓄する。


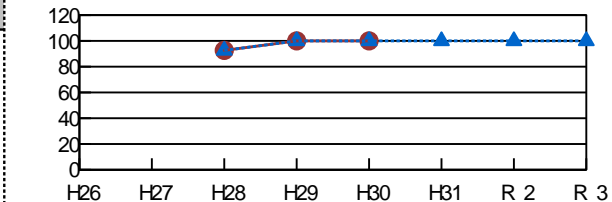
【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
簡易トイレ備蓄数	基	1,681	1,815	1,815	1,815	1,815
し尿凝固剤備蓄数	個	155,250	176,400	176,400	176,400	176,400


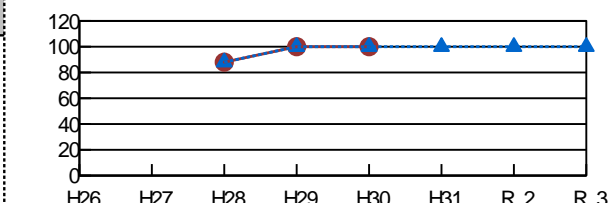
【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	簡易トイレ備蓄率	%	目標値	92.62	100	100	100	100
	実績値	92.62	100	100				
成果指標	し尿凝固剤備蓄率	%	目標値	88.01	100	100	100	100
	実績値	88.01	100	100				

成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度備蓄予定数量の配備を完了し、「高松市災害時緊急物資備蓄計画」の目標数を達成した。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点

成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度備蓄予定数量の配備を完了し、「高松市災害時緊急物資備蓄計画」の目標数を達成した。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,695	3,113	1,905	2,823
（事業費）	[円]	2,302	2,582	1,527	2,445
（職員人件費）	[円]	393	531	378	378

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
計画的な緊急物資の配備を行った。 また、浸水世帯への補助金の交付を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
平成29年度で避難所への簡易トイレ及びし尿凝固剤の配備が完了した。平成30年度からは使用期限が過ぎた凝固剤の更新を実施していく。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	衛生センター
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-821-0428
	基本事業	し尿の適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	し尿中継貯留槽整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成28年度末の衛生処理センターの運転停止及びし尿等の海上輸送の廃止に伴い、離島におけるし尿等の安定的・効率的な運搬を継続するため、女木町及び男木町に貯留槽を整備する。 平成28年度：実施設計、女木町貯留槽整備工事 平成29年度：女木町・男木町貯留槽整備工事 平成30年度：男木町貯留槽整備工事、新たな収集・運搬方法に移行		
3年度概要			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理


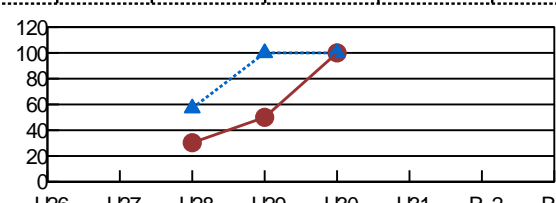
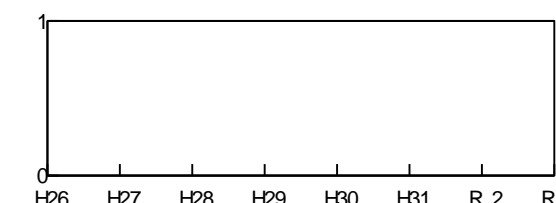
【事業の目的】

対象(何を)	女木町及び男木町し尿中継貯留槽
意図(どのような状態にしたいか)	女木町及び男木町にし尿中継貯留槽を整備し、離島におけるし尿等の安定的・効率的な収集・運搬を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
し尿貯留槽整備箇所数	箇所	0	1	2		2

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
し尿中継貯留槽整備率	%	目標値	57.12	100	100		100
		実績値	30.32	50	100		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度から繰越となっていた男木町貯留槽の整備が完了し供用開始した。女木町、男木町の貯留槽整備が完了したことにより、し尿等の安定的・効率的な収集・運搬が行えるようになった。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	18,613	26,919	17,341	
(事業費)	[円]	16,415	25,174	15,299	
(職員人件費)	[円]	2,198	1,745	2,042	

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成29年度から繰越となっていた男木町貯留槽の整備が完了し供用開始した。女木町、男木町の貯留槽整備が完了したことにより、し尿等の安定的・効率的な収集・運搬が行えるようになった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

貯留槽の適切な維持管理を行い、離島におけるし尿等の安定的・効率的な収集・運搬を継続する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	衛生センター
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-821-0428
	基本事業	し尿の適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	し尿処理施設跡地利用事業		事業期間	平成28年度～令和3年度

【事業全体概要】

事業の概要	衛生処理センターの施設老朽化及びし尿等処理量の減少により、し尿等を下水処理施設で下水と共同処理を行うことから、同センターを廃止する。また、地元との協議に基づき、今後、同センター施設を公園として利用するため、施設解体や施設整備などを行う。			
3年度概要	旧衛生処理センターの下部解体撤去工事（土壌汚染対策を含む）・工事監理及び跡地整備工事設計修正等を行う。			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


【事業の目的】

対象（何を）	廃止した衛生処理センター施設及び跡地
意図（どのような状態にしたいか）	施設の解体及び跡地整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
解体・跡地整備事業の当年度進捗率	%	85.67	55.28	73.86	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
解体・跡地整備進捗率	%	目標値	3.63	35.67	45.94	73.13	100
		実績値	3.31	21.31	48.69		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 衛生処理センターの上部解体工事を完了した。また、敷地の土壌汚染調査を行い、その結果を受けて、下部解体撤去工事実施設計が完了した。  (目標達成度)							(達成度) 106.0%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	26,124	126,079	153,790	140,414
（事業費）	[円]	21,727	108,022	132,994	120,526
（職員人件費）	[円]	4,397	18,057	20,796	19,888

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度において、旧衛生処理センターの上部解体撤去及び敷地の土壌汚染調査等を行った。これらの結果を受けて、今後、下部の解体撤去（土壌汚染対策を含む）、跡地整備工事を実施していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

施設の解体・撤去、跡地整備を適正に行う。